



テクニカル
サポートセンター
(TSC)
兵庫県加東市



バッテリー
サポートセンター
(BSC)
兵庫県加東市

- 本社所在地：
大阪府大阪市北区
- 事業概要：
リチウムイオン二次電池の評価試験
- 常時使用する従業員：
35名（2024年3月期）
- 現在の売上高：
45億円（2024年3月期）
- 法人番号：
9120001108433
- Web：
<https://www.gl-tech.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
大塚 和志

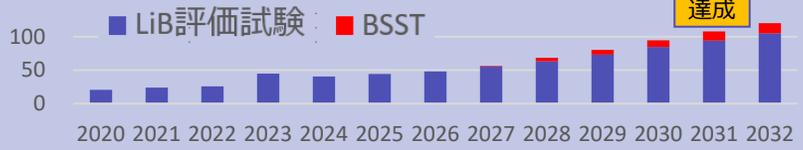
電池エネルギー産業の発展の一翼を担い社会へ貢献する

当社は、日本で初めて実用化されたLiB（リチウムイオン二次電池）の性能向上と普及拡大に着目し、2003年、LiB評価試験設備の開発と販売を行うベンチャーとして起業。大手二次電池メーカーからの要請を受けLiB評価試験受託事業に進出し、顧客ニーズを取り込むことで急成長。LiB評価試験設備販売・評価試験受託事業（以下、LiB評価試験事業）を主軸に、新たな収益の柱となる電池システムシミュレーションテスト事業（以下、BSST事業）にも進出することで100億円企業へと成長し、我が国の自動車・蓄電池産業の発展に寄与するとともに、雇用拡大や従業員の賃上げを通じて地域経済の発展に貢献する。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年度（2032年3月期）の売上高達成に向け、LiB評価試験事業を主軸に、BSST事業に進出することにより、年率11.6%程度の成長を目指す。



課題

- ・機会損失を避けるため、LiB評価試験の需要拡大を超える受託能力の確保。
- ・大型設備投資を実現するための資金調達を行うため、金融機関からの借入や補助金の活用を行う。
- ・新たな収益の柱となるBSST事業に必要な試験設備の開発、設置スペースの確保並びに受託体制の整備。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・車載用、定置用LiBの市場拡大に合わせ設備投資を行い、LiB評価試験受託能力を増強。
- ・全固体電池の実用化に伴う、評価試験技術の開発並びに人材育成に取り組む。
- ・LiB評価試験に並ぶ収益の柱を確立するために、新たにBSST事業へ進出する。

実施体制

- ・BSCにLiB評価試験設備の増設、安全性試験設備の設置を行い、LiB評価試験受託体制の強化を図る。
- ・TSC内のLiB評価試験設備をBSCの空きスペースに移設し、TSCの内部改修を行う。
- ・TSC内に電池システムシミュレータ、恒温恒湿試験設備を設置し、BSST受託体制を整備する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです